

2024年2月26日

各 位

会 社 名 株式会社JVCケンウッド
代表者名 代表取締役
社長執行役員 最高経営責任者 (CEO)
江口 祥一郎
(コード番号6632 東証プライム市場)
問合せ先 企業コミュニケーション部長
遠藤 勇
(TEL 045-444-5232)

(訂正)「JVCケンウッド 決算説明資料 2024年3月期第3四半期」の一部訂正について

当社は、2024年2月1日に公表しました「JVCケンウッド 決算説明資料 2024年3月期第3四半期」について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正理由

2024年2月1日に別途発表したプレスリリースについて、発表に至る過程での不備が判明したため取り消し、削除を行いました。これにより、「JVCケンウッド 決算説明資料 2024年3月期第3四半期」の該当記載箇所についても訂正の必要性が生じました。

2. 訂正内容

24ページの該当箇所を削除しました。

以 上

JVCケンウッド 決算説明資料

2024年3月期 第3四半期 (IFRS)

株式会社JVCケンウッド

【訂正】 2024年2月26日
2024年2月1日



- * 本資料の数値は全てIFRS（国際財務報告基準）となっています。
- * 本資料における比率・差額については、円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入しています。

■ 3Q累計実績

- ✓ S&S 無線システムの好調継続、M&T OEMの堅調な推移などから、前期比で大幅増収、事業利益は大幅増益。営業利益は減益も、前期3Qに計上した固定資産譲渡益（約97億円）の影響を除けば、前期比で大幅増益

■ 自己株式取得の結果について

- ✓ 2023年11月より実施した自己株式取得は、12月26日に取得を完了
取得株式：3,690,000株、取得価額：約25億円

■ 2024年3月期通期業績予想について

- ✓ 4Qも無線システムの堅調な需要を見込むが、国内自動車メーカーの生産・販売減や能登半島地震による影響が不透明であることなどから、業績予想を据え置く

1. 2024年3月期3Q累計決算概況

2. 2024年3月期通期業績予想

3. トピックス

<参考資料>

1. 2024年3月期3Q累計決算概況

2. 2024年3月期通期業績予想

3. トピックス

＜参考資料＞

2024年3月期3Q累計決算 全社実績

(億円)

	'21/3期 1-3Q	'22/3期 1-3Q	'23/3期 1-3Q	'24/3期 1-3Q	前年比	
売上収益	1,949	1,946	2,475	2,673	+ 198	+8.0%
売上原価	1,435	1,436	1,785	1,862	+ 77	+4.3%
売上総利益	514	510	690	811	+ 121	+17.5%
利益率	26.4%	26.2%	27.9%	30.3%		
事業利益^{※1}	20	3	112	160	+ 48	+42.8%
利益率	1.0%	0.1%	4.5%	6.0%		
その他の収益・費用、為替差損益等	1	34	83	△ 10	△ 93	—
営業利益	21	36	195	150	△ 45	-23.2%
利益率	1.1%	1.9%	7.9%	5.6%		
税引前利益	20	31	193	149	△ 44	-22.8%
親会社の所有者に帰属する						
四半期利益	5	5	155	109	△ 46	-29.6%
EBITDA^{※2}	172	168	342	298	△ 44	-12.8%
EBITDAマージン	8.8%	8.6%	13.8%	11.2%		

※1: 売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなるその他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まない。
2024年3月期より従来の「コア営業利益」から「事業利益」に名称変更

※2: 税引前利益 + 支払利息 + 減価償却費 + 減損損失で計算

	'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	
損益為替レート	1米ドル	108	106	105	106	106	110	110	114	116	112	130	138	141	132	135	137	145	148		
	1ユーロ	119	124	125	128	124	132	130	130	130	131	138	139	144	142	141	150	157	159		

(円)

(参考) 2024年3月期3Q累計決算 全社実績

- 前期3Qに計上した固定資産譲渡益（約97億円）影響を除くと、営業利益以下も大幅増益

	①	②	③	④	(億円)	
	'23/3期 1-3Q (実績)	固定資産 譲渡影響	'23/3期 1-3Q (①-②)	'24/3期 1-3Q	固定資産譲渡 影響を除く前年比 (④-③)	
売上収益	2,475		2,475	2,673	+ 198	+8.0%
売上原価	1,785		1,785	1,862	+ 77	+4.3%
売上総利益	690		690	811	+ 121	+17.5%
利益率	27.9%		27.9%	30.3%		
事業利益^{※1}	112		112	160	+ 48	+42.8%
利益率	4.5%		4.5%	6.0%		
その他の収益・費用、為替差損益等	83	+ 97	△ 14	△ 10	+ 4	-
営業利益	195	+ 97	98	150	+ 52	+52.8%
利益率	7.9%		4.0%	5.6%		
税引前利益	193	+ 97	96	149	+ 53	+54.8%
親会社の所有者に帰属する						
四半期利益	155	+ 84	71	109	+ 38	+53.6%

2024年3月期3Q累計決算 分野別の状況

(億円)

		'21/3期 1-3Q*	'22/3期 1-3Q	'23/3期 1-3Q	'24/3期 1-3Q	前年比	
M&T	売上収益	1,129	1,116	1,484	1,488	+ 4	+0.3%
	事業利益	28	△ 13	43	31	△ 12	-28.0%
S&S	売上収益	416	395	520	699	+ 179	+34.5%
	事業利益	△ 9	△ 2	65	133	+ 68	+105.2%
ES	売上収益	365	387	417	420	+ 3	+0.6%
	事業利益	2	19	4	△ 2	△ 6	-144.3%
その他	売上収益	38	48	54	66	+ 12	+21.7%
	事業利益	△ 1	△ 1	1	△ 2	△ 2	-425.9%
合計	売上収益	1,949	1,946	2,475	2,673	+ 198	+8.0%
	事業利益	20	3	112	160	+ 48	+42.8%

※ '21/3期のM&Tの実績には、'22/3期に編入したテレマティクスサービス事業を含む

M&T

アフターマーケット、テレマティクスサービスの販売減影響を受けるも、OEMが国内用品の販売回復、欧州子会社の販売堅調などから増収増益となり、為替ヘッジによるマイナス影響約16億円を除くと分野全体では増益

S&S

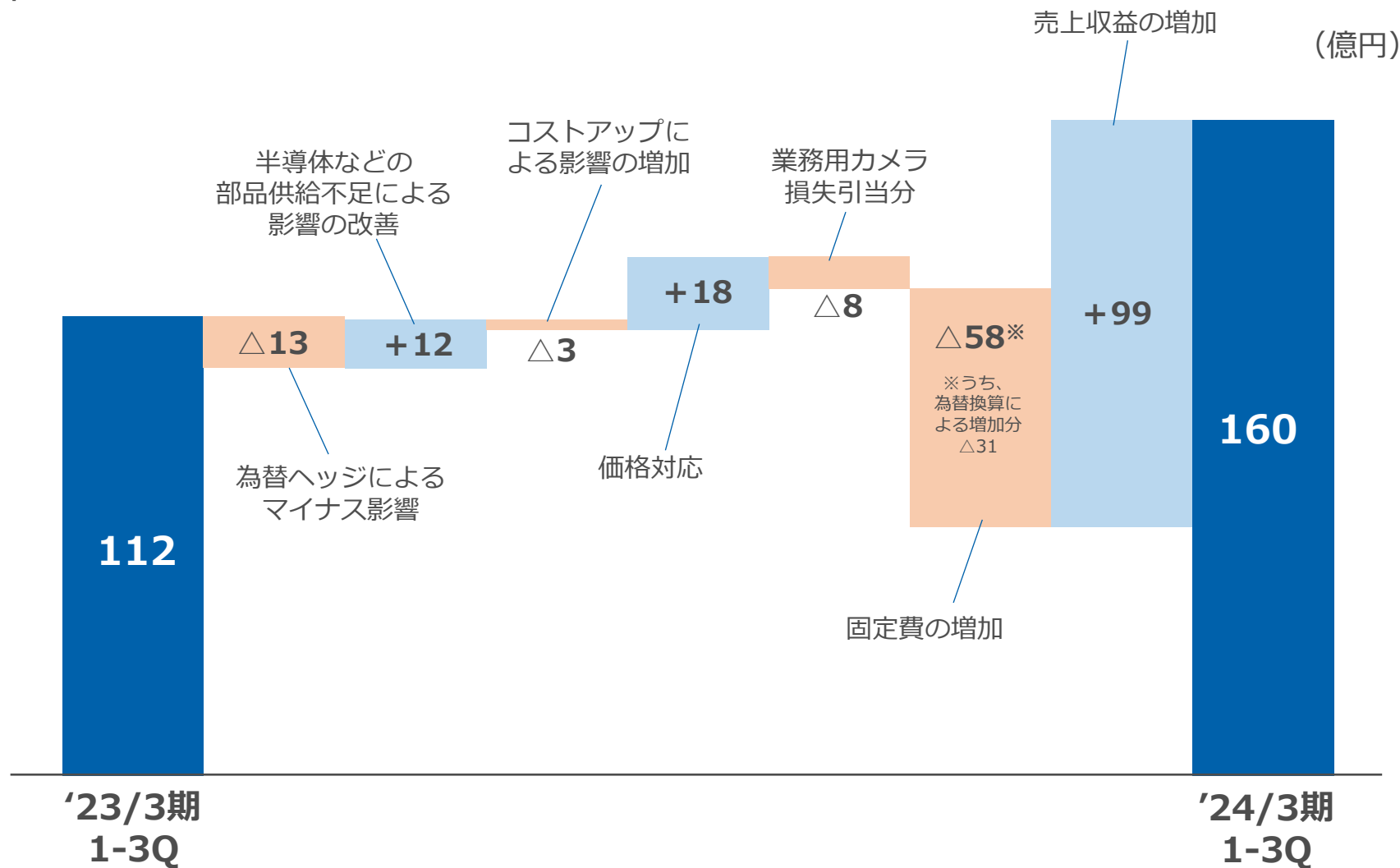
無線システムは、米国を始めとする海外市場での販売が非常に好調に推移したことなどから、大幅な増収増益。業務用システムは、構造改革の実施と社会インフラ市場の回復傾向により増収、損益改善

ES

メディアは、プロジェクターの販売回復も、業務用カメラの販売減および業容縮小にともなう損失引当約8億円計上などから減収減益。エンタテインメントは、コンテンツビジネスの販売が堅調に推移し増収増益

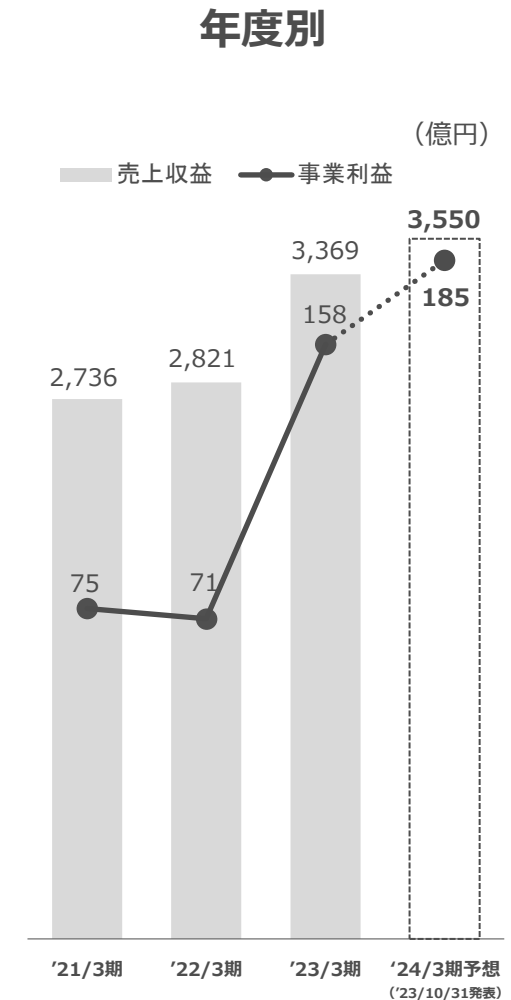
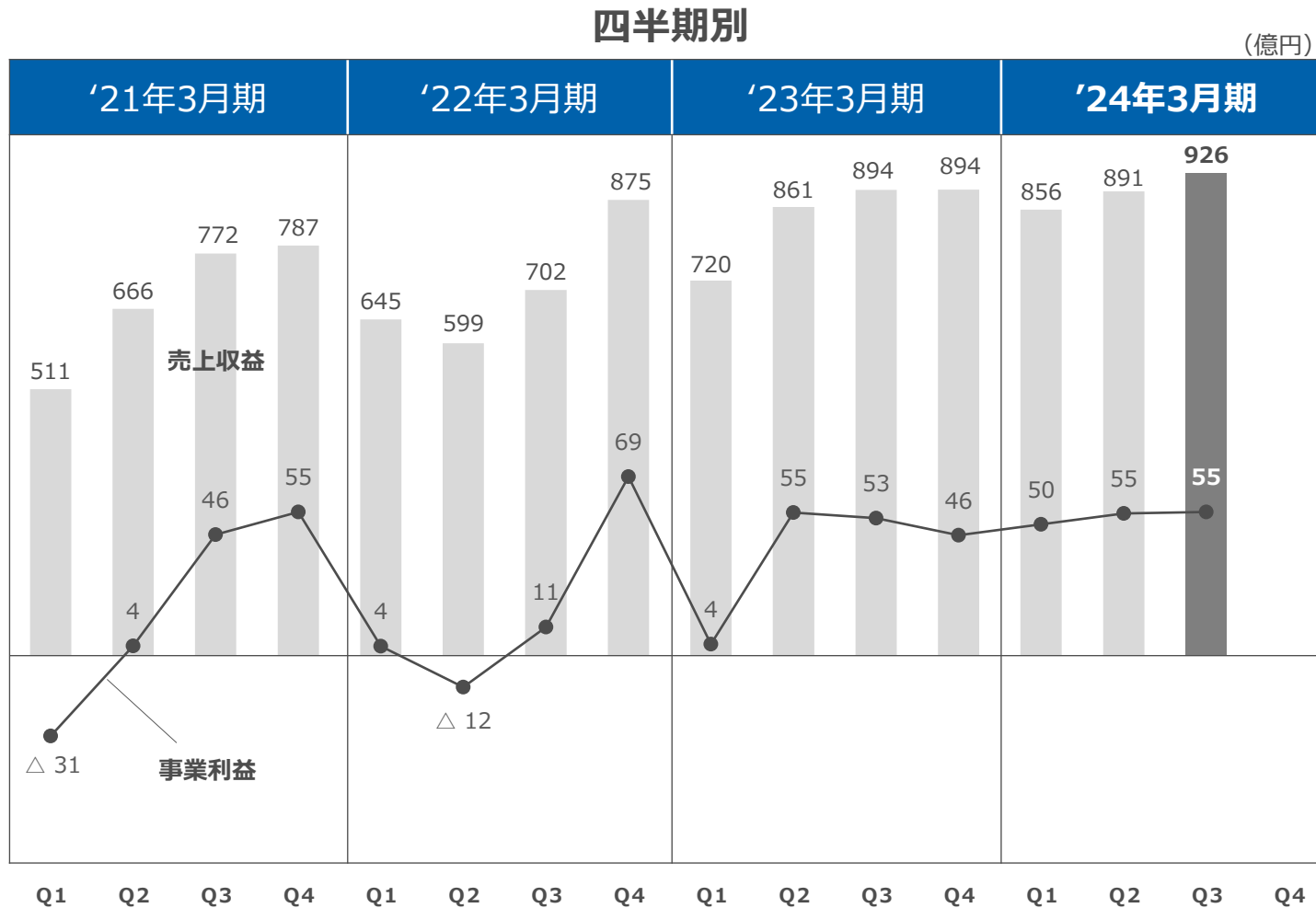
2024年3月期3Q累計決算 事業利益の増減要因

- 売上収益の大幅増や価格対応、半導体などの部品不足影響の改善により、前期比で大幅増益



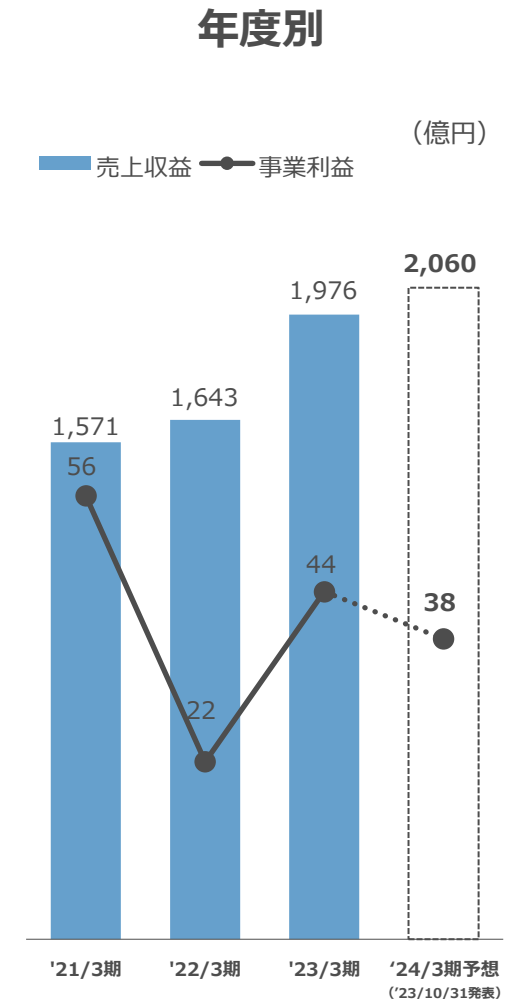
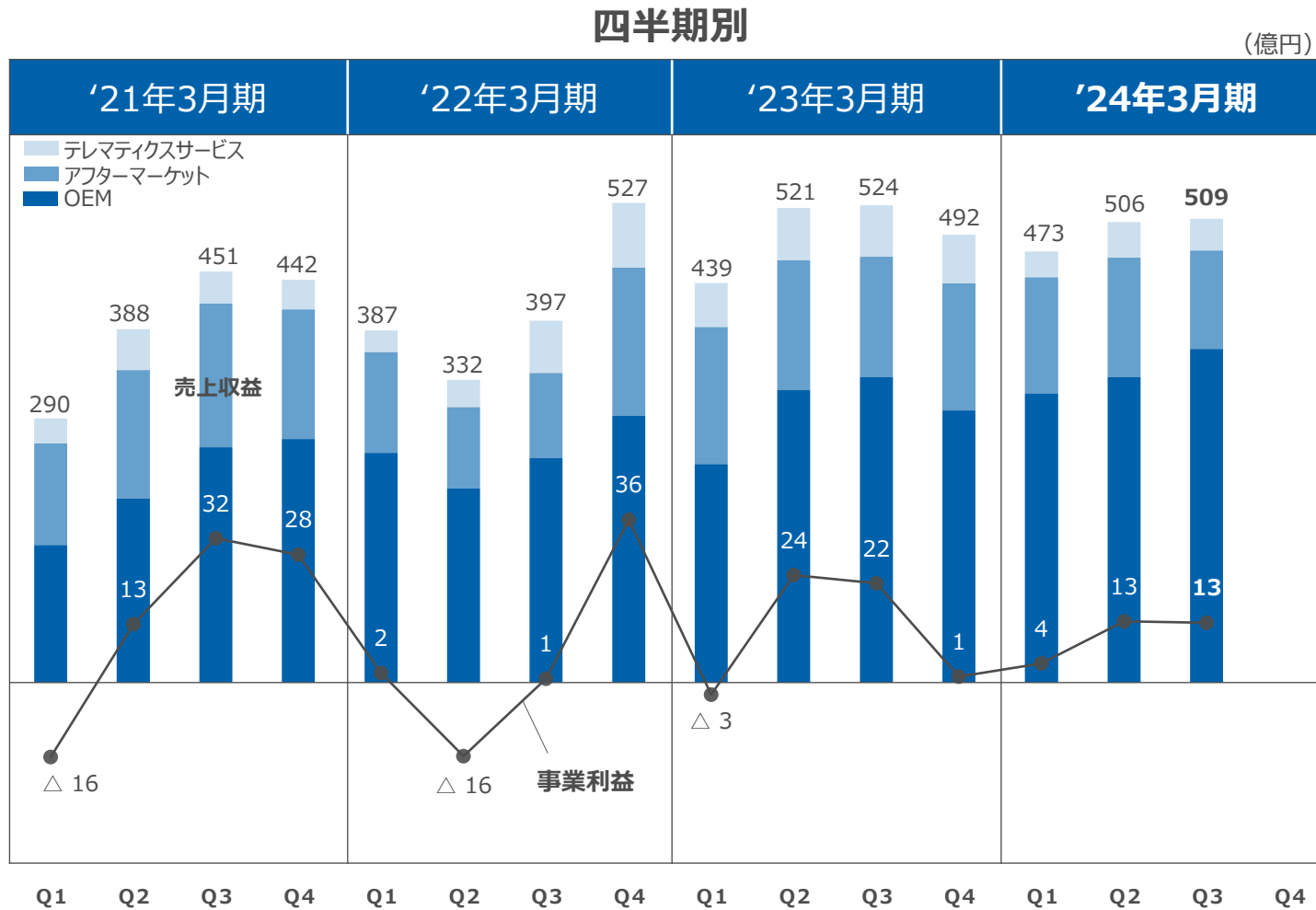
全社実績推移

- 3Q（10-12月）は、S&S 無線システムの販売好調、M&T OEMの販売堅調などから、為替ヘッジによるマイナス影響約4億円、ES メディアの損失引当約8億円計上などあるも、前期比で増収増益



M&T 売上収益・事業利益推移

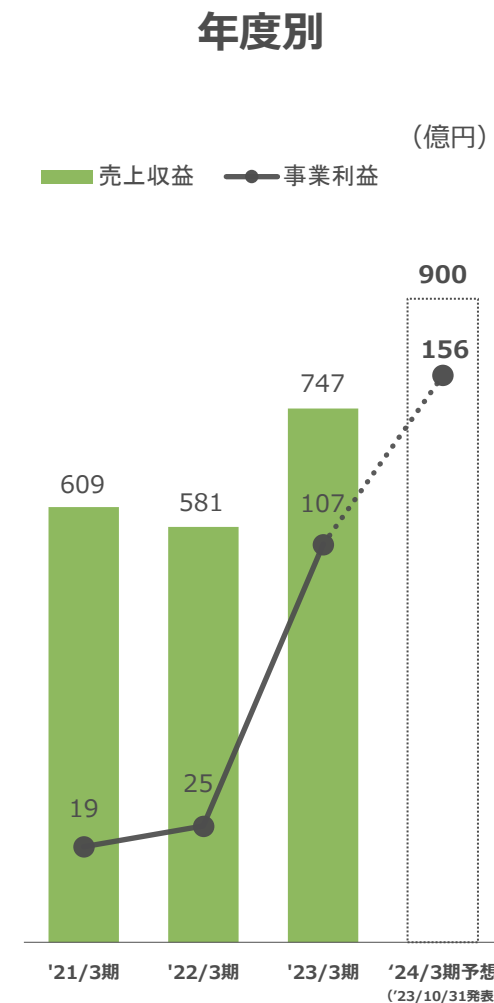
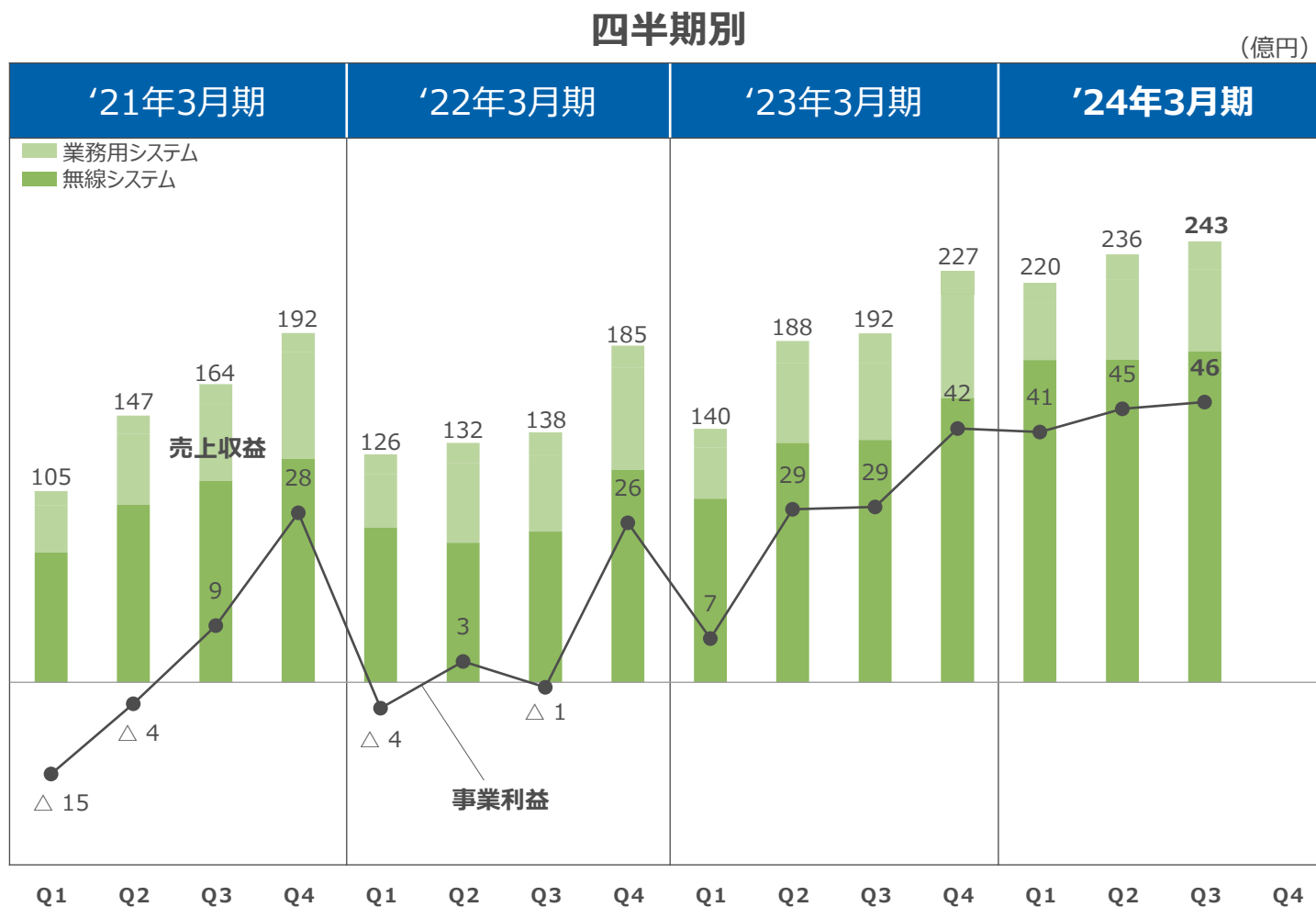
- 3Q（10-12月）は、OEMが堅調に推移し増収増益も、為替ヘッジによるマイナス影響約5億円に加え、アフター※1、テレマ※2の販売減影響を受け、分野全体では前期比で減収減益



※1：アフターマーケット、※2：テレマティクスサービス

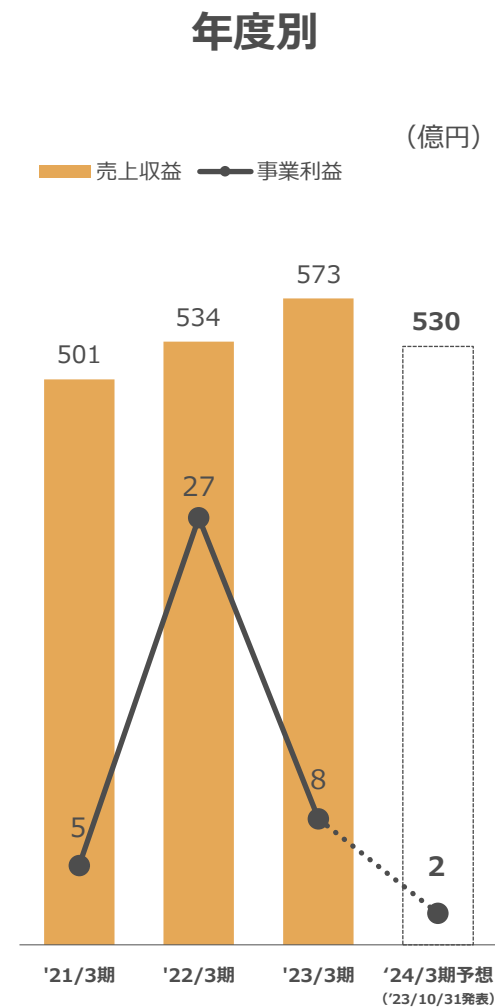
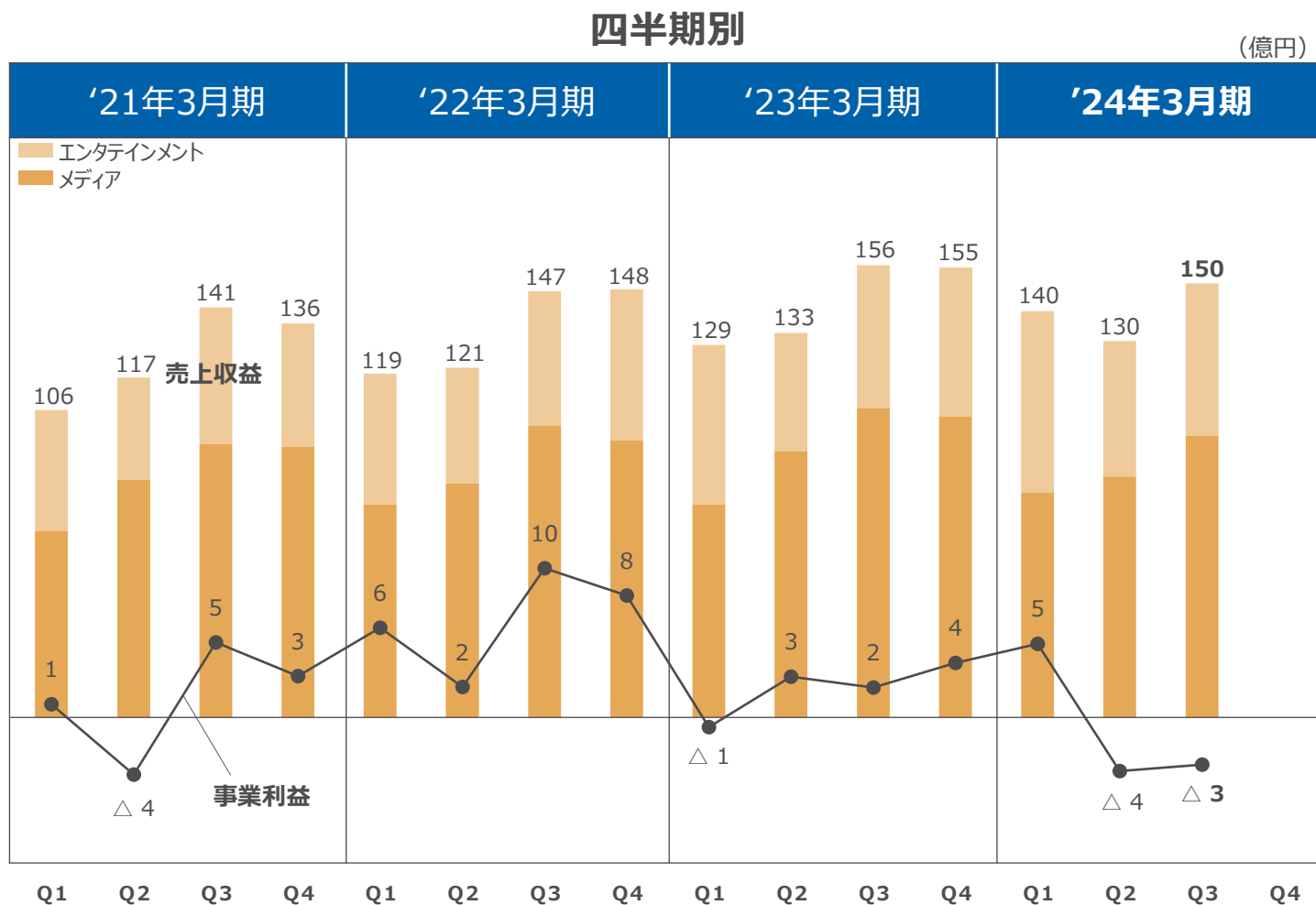
S&S 売上収益・事業利益推移

- 3Q（10-12月）は、無線システムは米国を始めとする海外市場における販売好調が継続し、業務用システムも堅調に推移したことから、分野全体では前期比で大幅増収増益



ES 売上収益・事業利益推移

- 3Q（10-12月）は、メディアの業務用カメラでの約8億円の損失引当により前期比で減益となったものの、それを控除すればエンタテインメントやプロジェクターの好調で増益

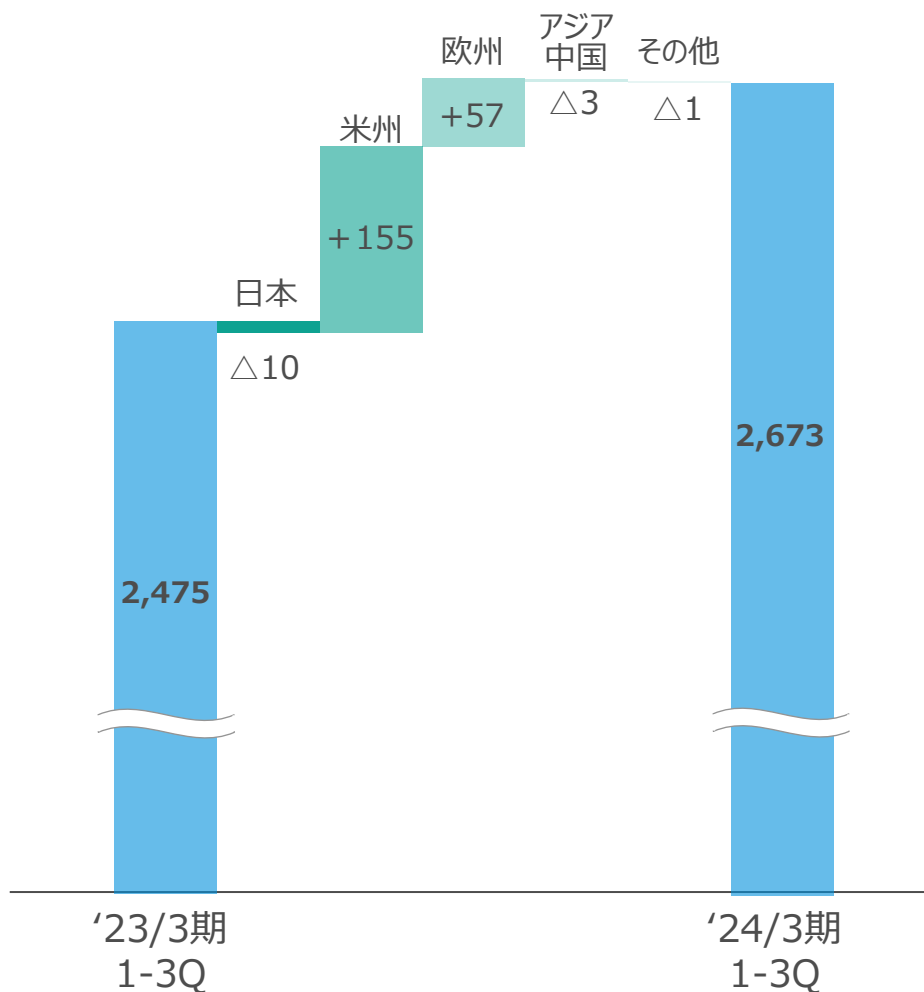


2024年3月期3Q累計決算 地域別連結売上収益

■ 無線システムの販売好調、OEMの欧州子会社の販売堅調により、欧米が増収

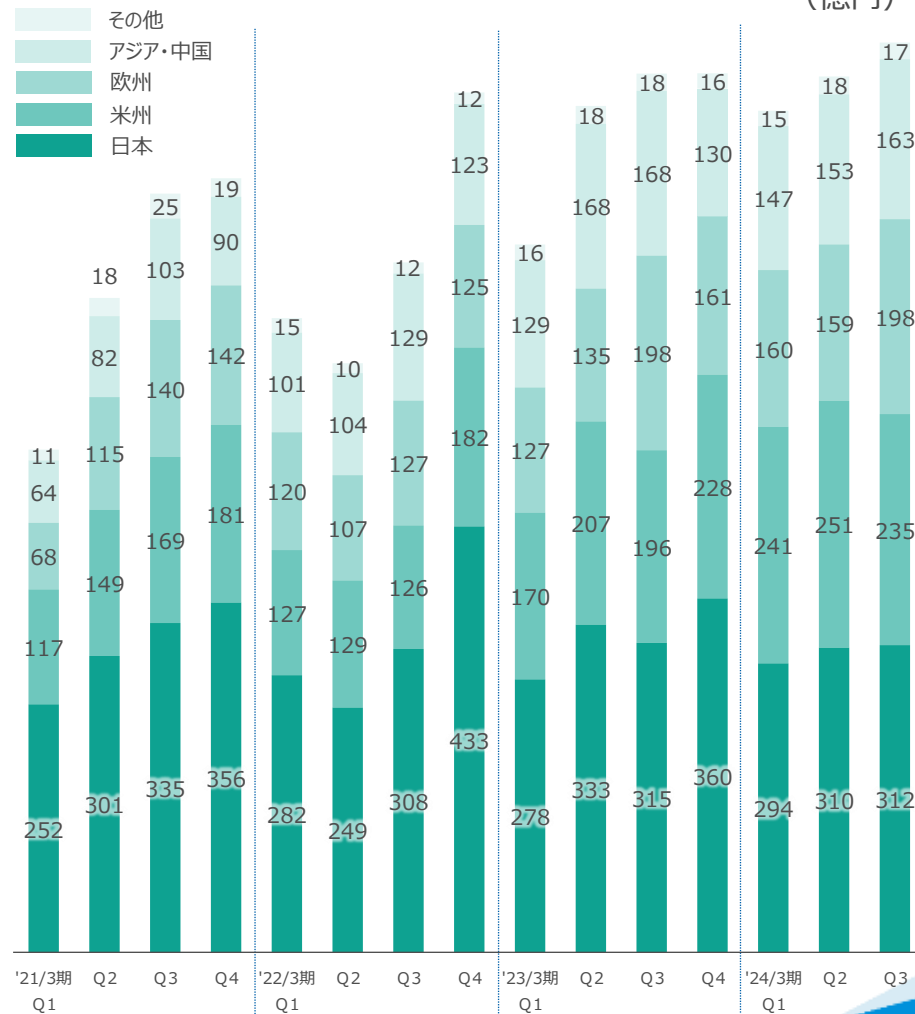
地域別増減

(億円)



地域別四半期推移

(億円)



2024年3月期3Q累計決算 連結損益サマリー

- 前期に発生した固定資産譲渡益約97億円の影響を除けば、事業利益の大幅増加にともない、営業利益以下のすべての段階損益においても前期比大幅増益

(億円)

	'21/3期 1-3Q	'22/3期 1-3Q	'23/3期 1-3Q	'24/3期 1-3Q	前年比
事業利益	19.5	2.7	112.2	160.2	+ 48.0
その他の収益・費用、為替差損益等	1.1	33.5	82.9	△ 10.3	△ 93.2
営業利益	20.6	36.3	195.1	149.8	△ 45.2
金融収支他	△ 0.9	△ 5.5	△ 1.6	△ 0.5	+ 1.1
税引前利益	19.7	30.8	193.4	149.3	△ 44.1
法人所得税費用	10.0	21.6	33.1	33.6	+ 0.5
非支配持分	4.7	4.1	5.2	6.5	+ 1.3
親会社の所有者に帰属する四半期利益	5.0	5.0	155.1	109.2	△ 45.9

2024年3月期3Q累計決算 財政状態サマリー

- 親会社の所有者に帰属する持分は、利益剰余金とその他の資本の構成要素の増加により、前期末比で82億円増の1,070億円
- ネットデットは、2Q末の105億円から30億円改善し75億円。現預金も2Q末から6億円増加し513億円

(億円)

	'21/3期末	'22/3期末	'23/3期末	'24/3期3Q	前期末比
資産合計	2,643	2,808	2,994	3,068	+ 75
負債合計	1,958	1,968	1,956	1,935	△ 21
資本合計	685	840	1,037	1,133	+ 96
有利子負債	756	698	625	588	△ 36
ネットデット	159	211	63	75	+ 12
ネットD/Eレシオ (倍)	0.25	0.27	0.06	0.07	+ 0.01
親会社の所有者に帰属する持分	646	795	988	1,070	+ 82
親会社所有者帰属持分比率 (%)	24.5	28.3	33.0	34.9	+ 1.9pt

2024年3月期3Q累計決算 キャッシュ・フローサマリー

- 営業キャッシュ・フローは、事業利益の増加に加えて在庫削減による運転資金の改善などにより、前期比で増加
- 投資キャッシュ・フローは、固定資産売却による収入減と、新ビル建設費用などの支出増により前期比で増加
- 財務キャッシュ・フローは、自己株式取得を含む株主還元の実施により支出が増加

(億円)

	'21/3期 1-3Q	'22/3期 1-3Q	'23/3期 1-3Q	'24/3期 1-3Q	前年比
営業活動によるキャッシュ・フロー	229	△ 26	157	229	+ 72
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 89	△ 56	△ 10	△ 129	△ 120
フリー・キャッシュ・フロー (営業活動によるキャッシュ・フロー+投資活動によるキャッシュ・フロー)	140	△ 82	147	99	△ 48
財務活動によるキャッシュ・フロー	13	△ 71	△ 152	△ 168	△ 16
合計	152	△ 154	△ 4	△ 68	△ 64

1. 2024年3月期3Q累計決算概況

2. 2024年3月期通期業績予想

3. トピックス

<参考資料>

2024年3月期通期業績予想について

- 3Q累計はS&S 無線システムの好調継続、M&T OEMが堅調に推移したことなどから、全社では想定を上回る実績
- 4Qも無線システムの堅調な需要を見込むが、国内自動車メーカーの生産・販売減や能登半島地震の影響が不透明であることなどから、業績予想を据え置く

(億円)

	'21/3期 実績	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 期初発表予想 ('23/4/27)	'24/3期予想 ('23/10/31発表)	期初発表 予想比	前年比	
売上収益	2,736	2,821	3,369	3,500	3,550	+ 50	+ 181	+5.4%
事業利益	75	71	158	148	185	+ 37	+ 27	+16.8%
営業利益	49	91	216	134	165	+ 31	△ 51	-23.7%
税引前利益	45	85	212	124	155	+ 31	△ 57	-26.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	22	59	162	80	105	+ 25	△ 57	-35.3%
ROE (%)	3.6	8.1	18.2	8.0	10.0	+ 2.0pt	△ 8.2pt	-

(円)

	'21/3期実績	'22/3期実績	'23/3期実績	'24/3期 期初発表予想 ('23/4/27)	'24/3期予想 ('23/10/31発表)
期末配当金	5	6	12*	8	8

※うち、特別配当5円

(円)

		'21/3期 実績	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 期初発表想定 ('23/4/27)	'24/3期想定 ('23/10/31発表)
損益為替レート	1米ドル	106	112	135	133	147
	1ユーロ	124	131	141	144	150

2024年3月期通期業績予想 分野別の状況

- 前回発表（'23/10/31）からの変更はなし

(億円)

		'21/3期 実績 [※]	'22/3期 実績	'23/3期 実績	'24/3期 業績予想 ('23/10/31発表)	前年比
M&T	売上収益	1,571	1,643	1,976	2,060	+ 84
	事業利益	56	22	44	38	△ 6
S&S	売上収益	609	581	747	900	+ 153
	事業利益	19	25	107	156	+ 49
ES	売上収益	501	534	573	530	△ 43
	事業利益	5	27	8	2	△ 6
その他	売上収益	55	63	74	60	△ 14
	事業利益	△ 5	△ 3	△ 0	△ 11	△ 11
合計	売上収益	2,736	2,821	3,369	3,550	+ 181
	事業利益	75	71	158	185	+ 27

※ '21/3期のM&Tの実績には、'22/3期に編入したテレマティクスサービス事業を含む

1. 2024年3月期3Q累計決算概況

2. 2024年3月期通期業績予想

3. **トピックス**

〈参考資料〉

令和6年能登半島地震について

<業績への影響>

- 当社への直接的影響は無いものの、部品供給面において、現時点では今期4Qおよび来期の業績に与える影響は不透明

<被災地に対する支援>

- 日本赤十字社を通じて義援金500万円を寄付
- 日産自動車株式会社様と連携し、同社より無償貸与されたポータブル電源「ポータブルバッテリー from LEAF」に加え、当社よりソーラーパネル「BH-SP100A-H」50台を寄贈
- 被災地からの要請も踏まえ、当社製ポータブル電源や無線機器、光触媒除菌脱臭機など、さらなる義援物資の提供を検討



ソーラーパネル「BH-SP100A-H」



日産自動車株式会社様より無償貸与された
ポータブルバッテリー from LEAF



光触媒除菌脱臭機
「WL-AC100」



無線機イメージ

M&T海外OEM 北米自動車メーカー向け初のTier1※純正受注

- ダイムラー・トラック・ノース・アメリカ社の2車種へ、KENWOODブランドのディスプレイオーディオをTier1純正として供給開始 (2/1広報発表)
 - ✓ 当社製品：6.95インチモニターのトラック用ディスプレイオーディオ
 - ✓ 対象車種：「フレイトライナー」および「ウエスタンスター」
 - ✓ 供給開始時期：2024年2月



〈採用されたディスプレイオーディオ〉



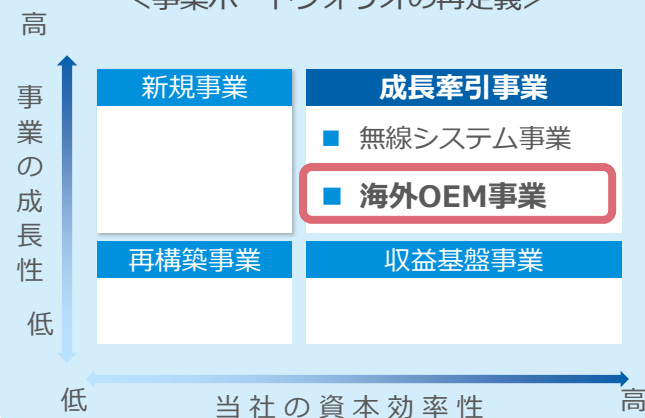
〈フレイトライナー車両内取付イメージ〉



〈ウエスタンスター車両〉

中期経営計画「VISION2025」

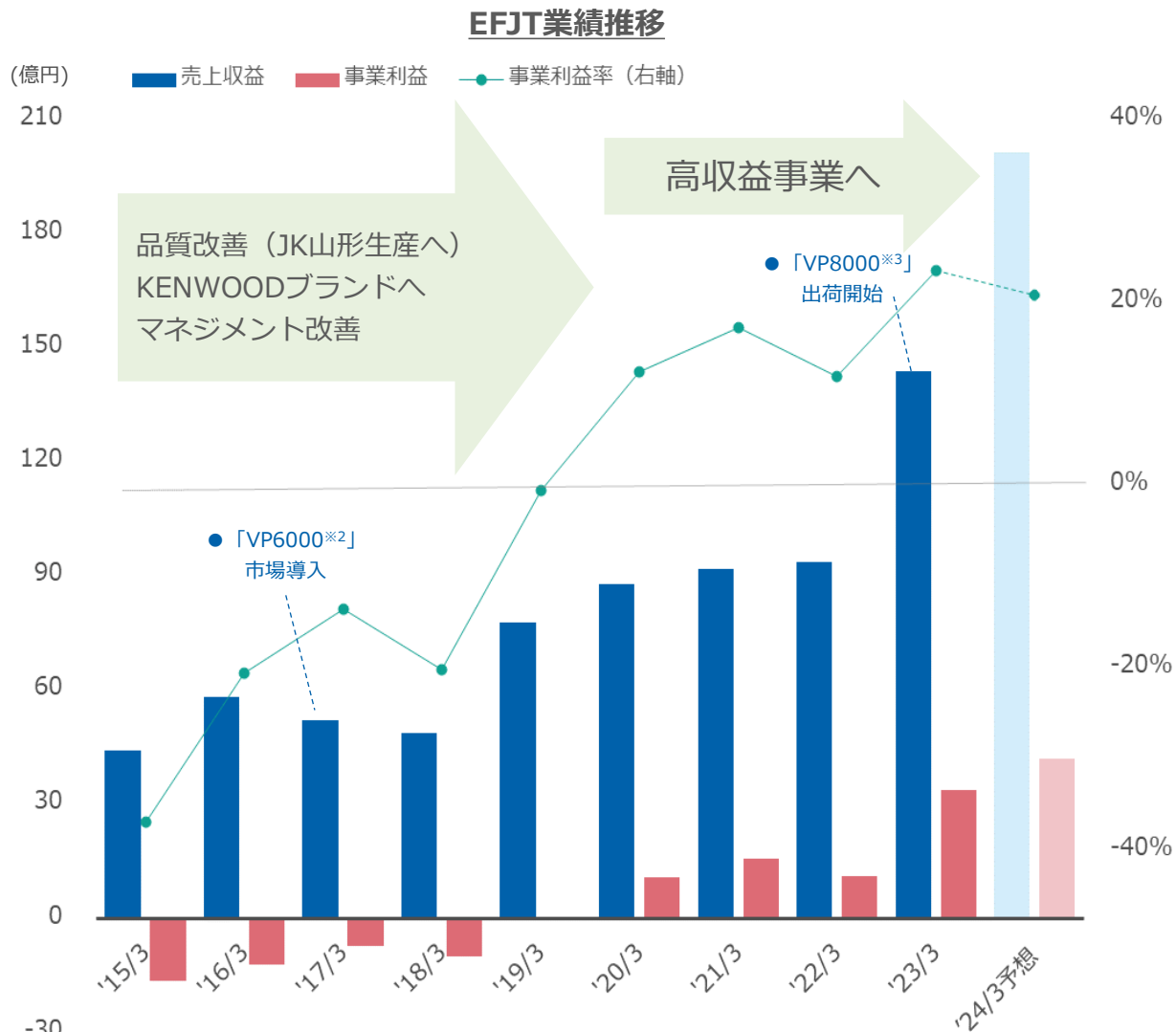
〈事業ポートフォリオの再定義〉



※：完成車メーカーに直接部品などを納品するメーカー

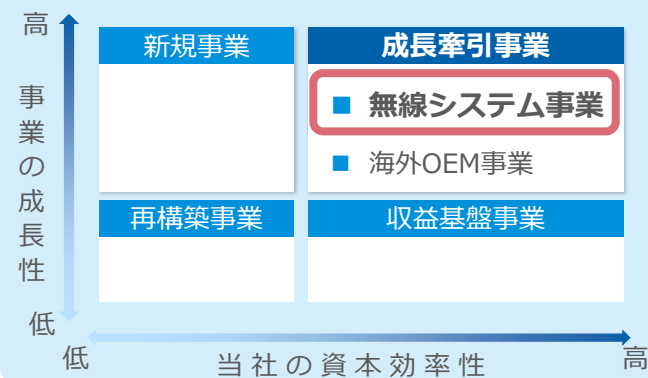
S&S無線システム EFJT※1の成長

■ 高収益な事業体に成長し、北米公共安全市場でのポジションを確立



中期経営計画「VISION2025」

<事業ポートフォリオの再定義>



※1: EF Johnson Technologies Inc.

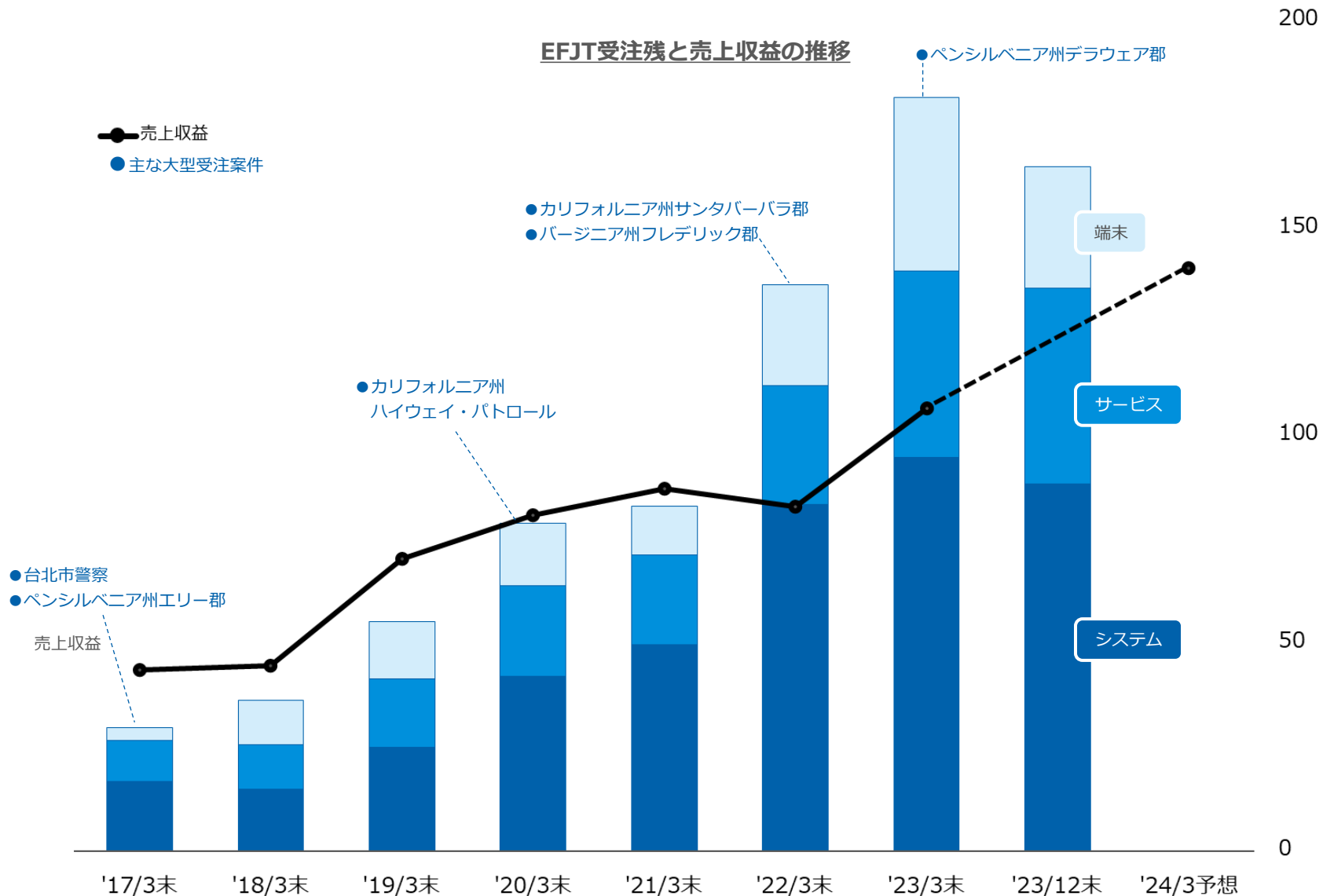
※2: P25対応業務用デジタル無線機

※3: P25トライバンド対応業務用デジタル無線機

S&S無線システム事業 EFJT受注残推移

■ EFJTは順調な売上（出荷）および堅調な受注残規模を継続

(US百万ドル)



「VISION2025」再構築事業の進捗状況

- 業務用カメラ事業は、今年度の市況などを考慮して業容を縮小することとし、これにともなう構造改革費用として部材の損失引当約8億円、固定資産の減損約1億円を今期3Qに計上。生産終息時期の早期化を進めるとともに、来期以降の損益改善を図る
- 業務用システム事業では、ヘルスケアにおける新医療の終息をほぼ完了
- 事業ポートフォリオの再構築にともなう人員などのリソースについては、成長牽引事業や新規事業に再配分し、「変革と成長」をさらに加速させる

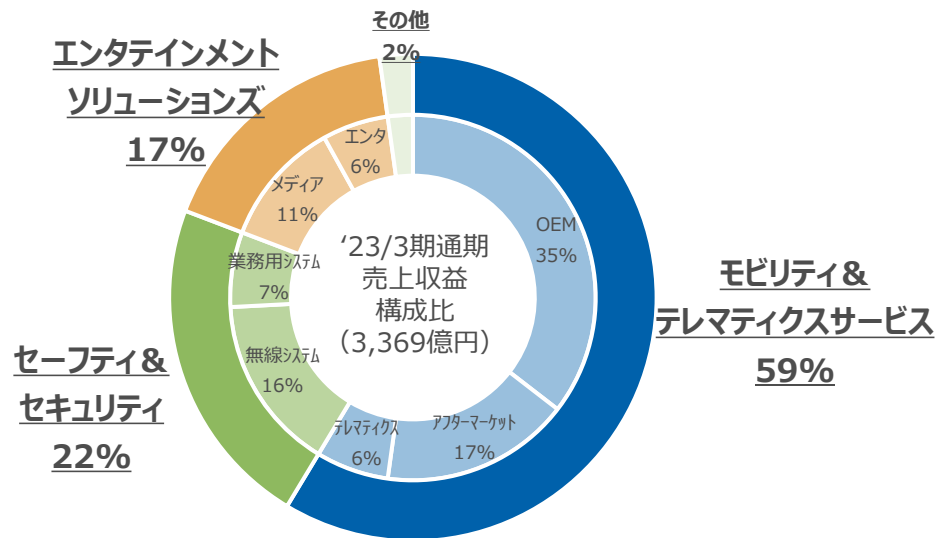


JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。

<参考資料>

事業内容



セーフティ&セキュリティ分野 (S&S)

無線システム

業務用無線システム

小電カトランシーバー

業務用システム

セキュリティシステム

業務用放送システム

医用画像表示モニター

エンタテインメントソリューションズ分野 (ES)

メディア

ヘッドホン/イヤホン

オーディオシステム

ポータブル電源

エンタテインメント

プロジェクター

音楽・映像コンテンツ

モビリティ&テレマティクスサービス分野 (M&T)

OEM

カーナビゲーション

カーオーディオ

ドライブレコーダー

電気自動車の再生バッテリーを利用したポータブル電源

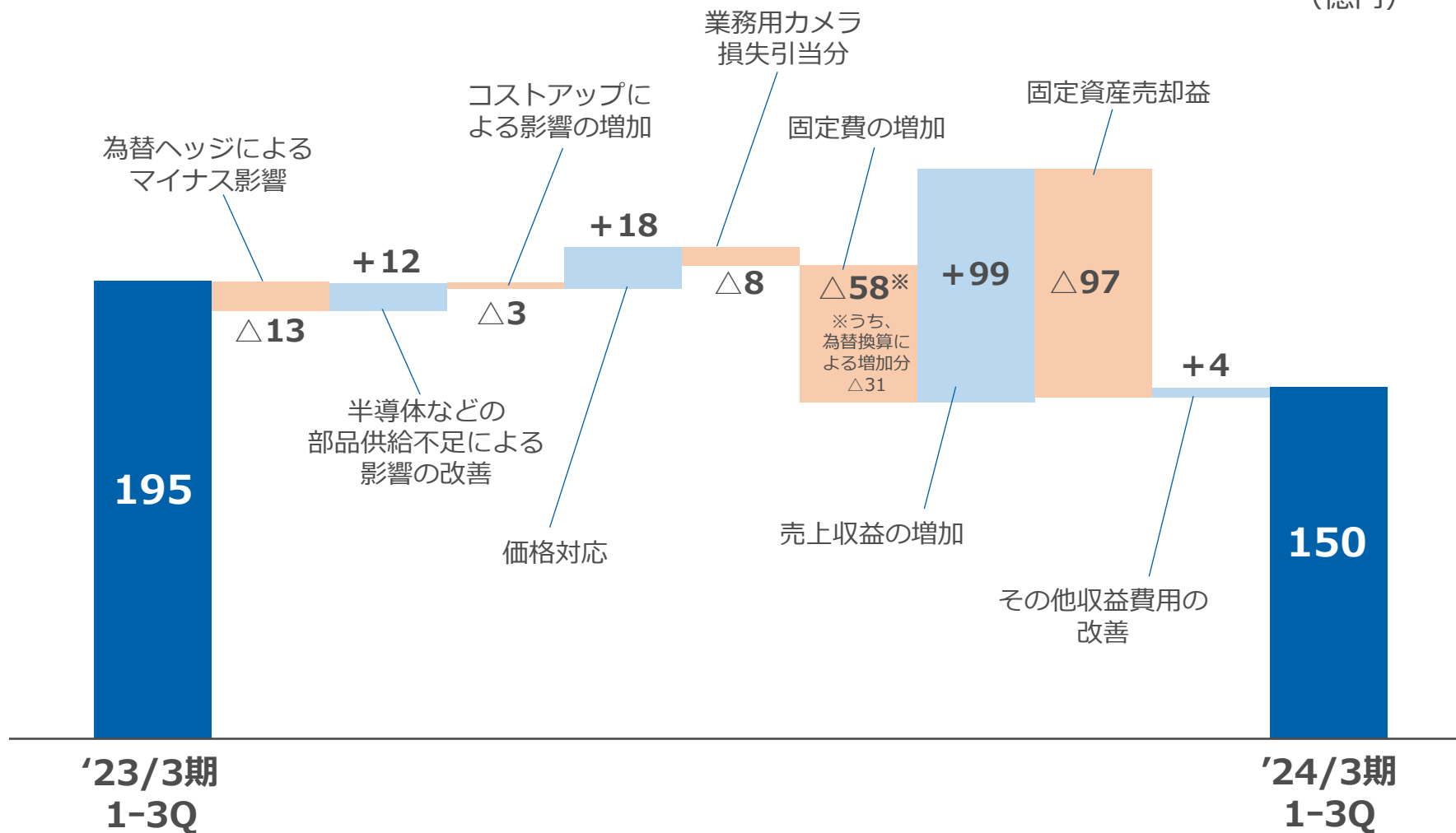
アフターマーケット

アルコール検知器

除菌消臭装置

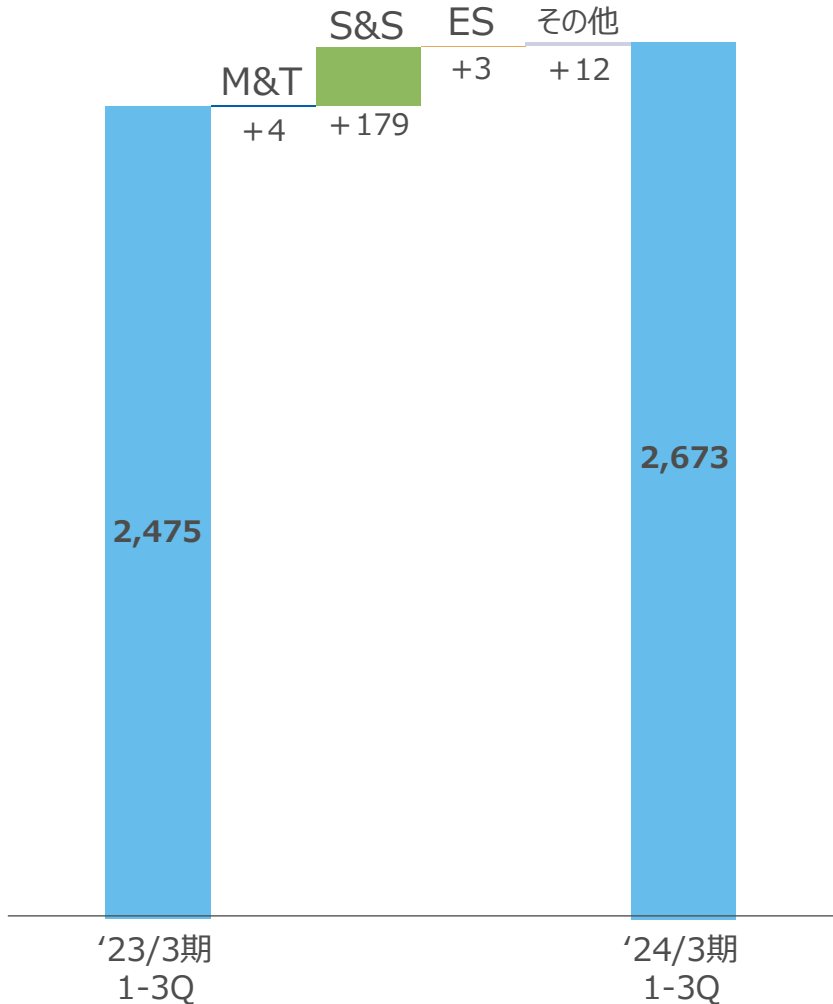
テレマティクスサービス

(億円)



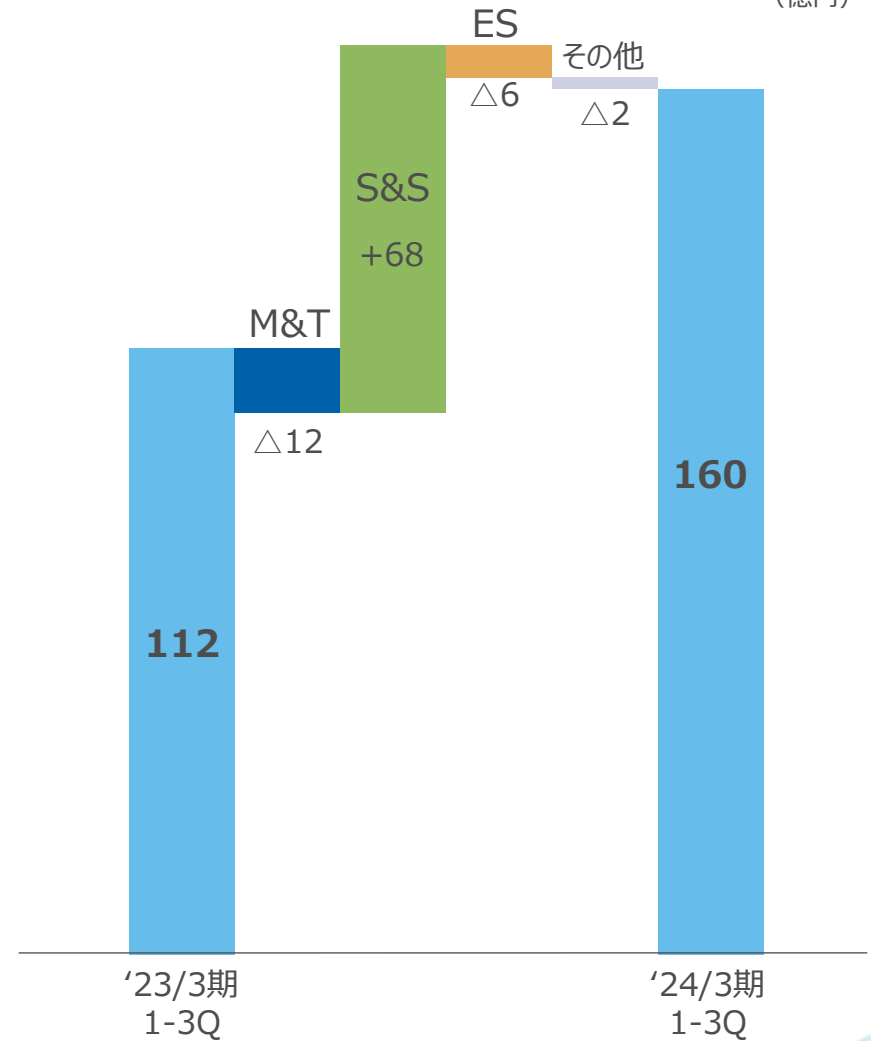
売上収益

(億円)



事業利益

(億円)



経営指標推移

設備投資・減価償却費・研究開発費推移

(億円)

	'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
設備投資※ (有形+無形)	39	33	81	43	195	44	76	55	48	223	54	53	45	45	197	46	58	84		188
有形固定資産	17	9	57	19	103	22	52	30	20	124	33	30	28	23	114	26	35	61		122
無形固定資産	21	24	23	24	93	22	24	26	28	100	21	23	17	21	83	20	23	23		66
減価償却費	47	49	49	49	193	46	43	41	41	171	42	44	44	46	176	44	46	46		136
研究開発費	40	40	38	40	157	40	39	38	41	159	40	41	43	51	174	45	45	51		141

※ 有価証券報告書には、有形固定資産のみを記載

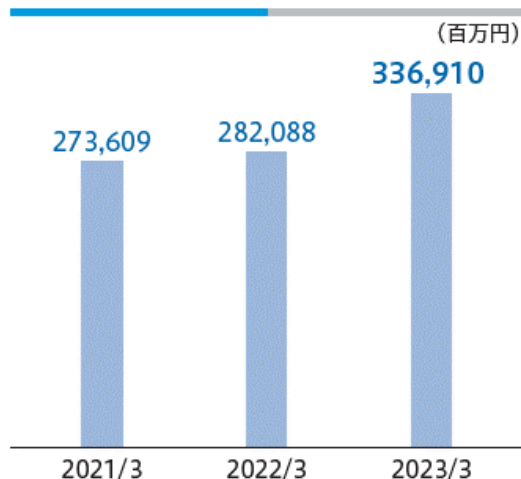
地域別売上収益推移

(億円)

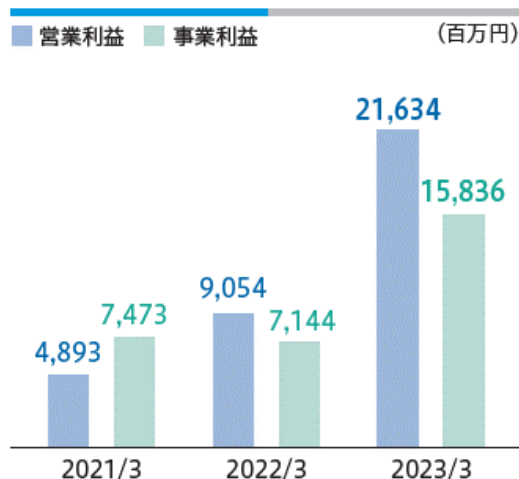
	'21/3期					'22/3期					'23/3期					'24/3期				
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計
日本	252	301	335	356	1,244	282	249	308	433	1,272	278	333	315	360	1,286	294	310	312		916
米州	117	149	169	181	615	127	129	126	182	564	170	207	196	228	800	241	251	235		727
欧州	68	115	140	142	464	120	107	127	125	478	127	135	198	161	621	160	159	198		517
アジア+中国	64	82	103	90	339	101	104	129	123	457	129	168	168	130	595	147	153	163		462
その他	11	18	25	19	74	15	10	12	12	48	16	18	18	16	67	15	18	17		51
合計	511	666	772	787	2,736	645	599	702	875	2,821	720	861	894	894	3,369	856	891	926		2,673

財務ハイライト

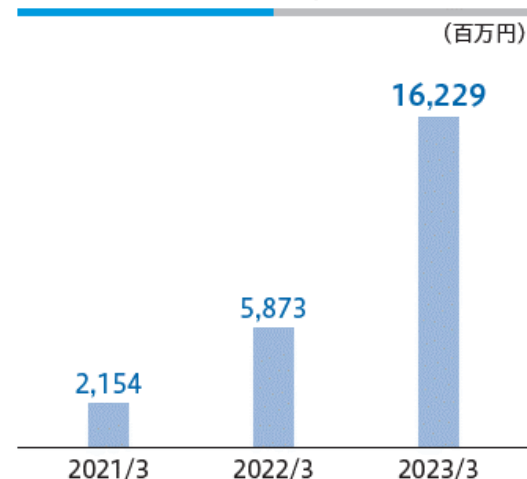
売上収益



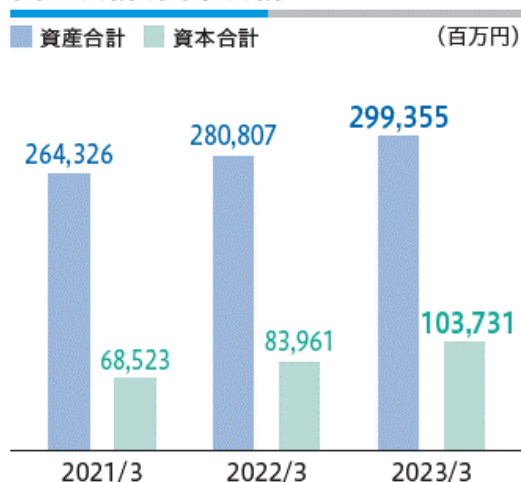
営業利益、事業利益^{※1}



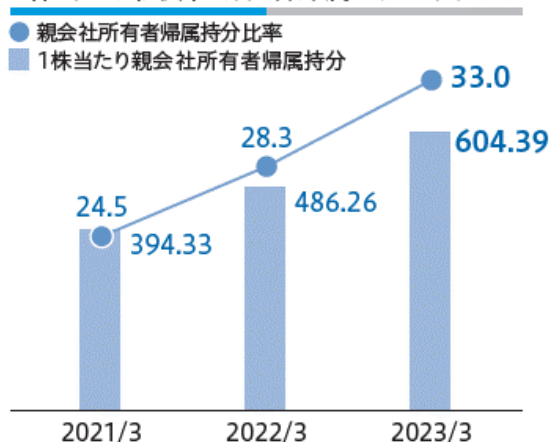
親会社の所有者に帰属する当期利益



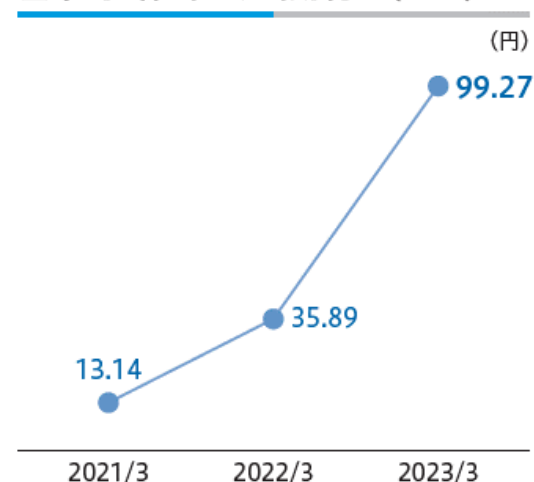
資産合計、資本合計



親会社所有者帰属持分比率^{※2}(自己資本比率)(%)、 1株当たり親会社所有者帰属持分^{※3}(円)



基本的1株当たり当期利益 (EPS)^{※4}

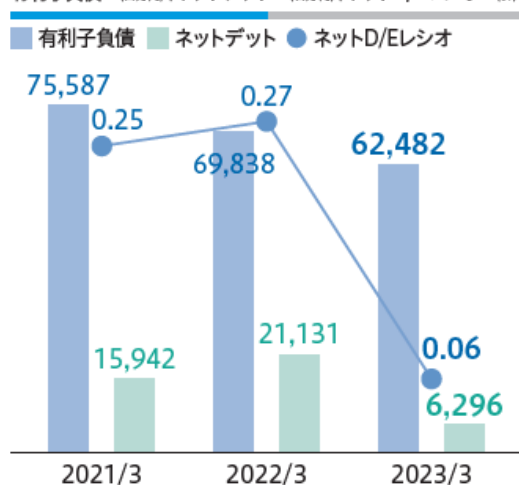


※1：売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除することにより算出され、主として一時的な要因からなる、その他の収益、その他の費用、為替差損益などを含まれません
 ※2：親会社の所有者に帰属する持分合計÷負債及び資本合計×100

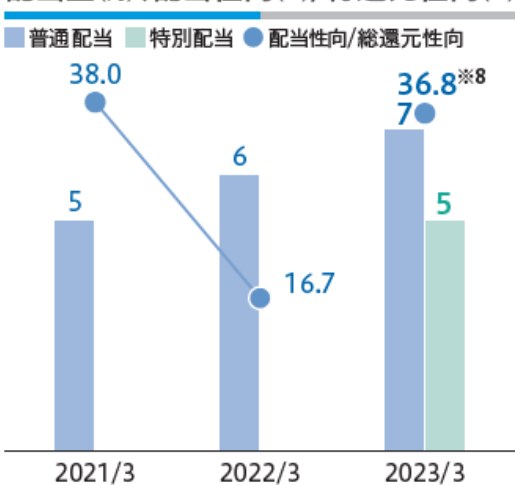
※3：親会社の所有者に帰属する持分合計÷発行済み株式数
 ※4：親会社の所有者に帰属する当期利益÷発行済み株式数 (期中平均)

財務ハイライト

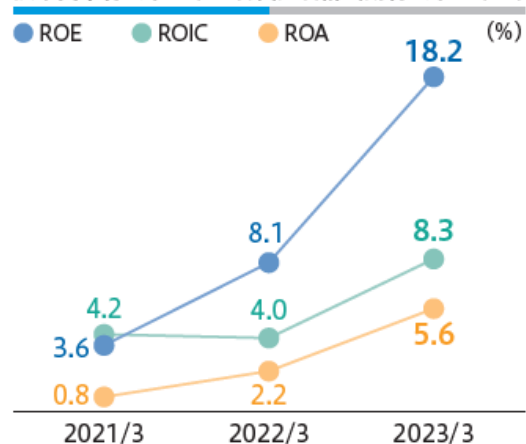
有利子負債^{※5}(百万円)、ネットデット^{※6}(百万円)、ネットD/Eレシオ^{※7}(倍)



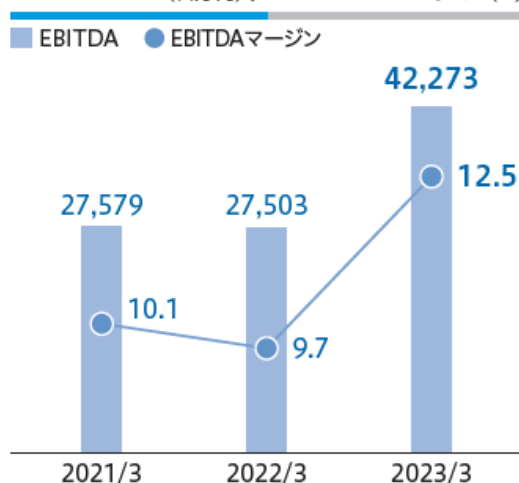
配当金(円)、配当性向(%) / 総還元性向(%)



親会社所有者帰属持分当期利益率^{※9}(ROE)、
投下資本利益率^{※10}(ROIC)、資産合計当期利益率^{※11}(ROA)



EBITDA^{※12}(百万円)、EBITDAマージン(%)



設備投資^{※13}、減価償却費、研究開発費

	(百万円)		
	2021/3	2022/3	2023/3
設備投資	10,268	12,354	11,426
減価償却費	19,316	17,120	17,615
研究開発費	15,720	15,871	17,379

キャッシュ・フロー

	(百万円)		
	2021/3	2022/3	2023/3
営業活動による キャッシュ・フロー	35,829	7,059	26,607
投資活動による キャッシュ・フロー	△11,804	△9,804	△7,329
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,342	△11,273	△14,032
フリー・キャッシュ・ フロー	24,024	△2,744	19,278

※5：リース負債は含まれません

※6：有利子負債-現金及び現金同等物の期末残高

※7：ネットデット÷親会社の所有者に帰属する持分合計

※8：2022年度(2023年3月期)より総還元性向となりませ

※9：親会社の所有者に帰属する当期利益÷期中平均親会社の所有者帰属持分×100

※10：(税引後事業利益+持分法損益)÷(株主資本+借入金)の期中平均×100

※11：親会社の所有者に帰属する当期利益÷資産合計×100

※12：税引前利益+支払利息+減価償却費+減損損失

※13：有形固定資産のみ

JVCKENWOOD

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスクおよび不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらすおそれがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1) 主要市場（日本、米州、欧州およびアジアなど）の経済状況および製品需給の急激な変動、(2) 国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3) ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4) 資本市場における相場の大幅な変動、(5) 急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。